

名古屋高速道路公社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

学校法人愛知学院（理事長：中村見自）は、2015年に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組みとして、このたび、名古屋高速道路公社（以下、「同公社」という）が発行するソーシャルボンド（第160回名古屋高速道路債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題解決に向けたプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券であり、グリーンボンドとともにESG（環境・社会・ガバナンス）投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association/国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は高速道路の新設・改築に係るファイナンスまたはリファイナンスに充当され、同公社は「高速道路の新規建設・改良工事」、「高速道路の維持管理及び長寿命化対策」といった高速道路事業を通じて、「経済活動の広域化・交流人口の拡大」、「道路構造物の高齢化」、「巨大地震リスクの高まりと気象災害の激甚化」、「お客様ニーズの多様化・高度化」といった社会的課題の解決に貢献しております。また、これらの取り組みは国連の持続可能な開発目標（SDGs）にも合致するものと考えられます。

今後も本学院は、適切なリスク管理のもとで、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資など各種取り組みを実施し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

本件に対するお問い合わせ先

学校法人愛知学院 財務部

052-751-2561（代）